



THE OGURA TIMES

港区と区議会をもっと身近に

2018.07 港区政レポート Vol.13

平成30年第2回定例会が終了しました。議案や自民党会派からの代表質問の一部をご報告いたします。

★ 条例の一部を改正する条例

港区特別区税条例等に関する条例

⇒ 国の「地方税法」等の改正に伴って、港区の関係する条例を同様に整備します。

- (1) 均等割、所得割の非課税限度額をそれぞれ10万円引き上げる。
- (2) 障害者等に対する所得割の非課税限度額を10万円引き上げる。
- (3) 前年の合計所得金額が2,500万円を超える所得割の納税義務者は、基礎控除と調整控除の運用対象外となる。
- (4) たばこ税区分に加熱式たばこを新しく設け、5年間で段階的に新たな課税方式に移行する。たばこ税も段階的に引き上げる。
- ……など

法律の文言などを合わせるための条例改正がよくあります。

★ 住宅宿泊事業（民泊）について

⇒ 6/15から施行の民泊事業ですが、違法ではなく、正式に運営していただける法人・個人の届出受理は6月末で50件を超えました。受理件数はこれからも増えていくと思われます。

民泊事業を行う物件は、共有エントランスや集合ポストなど、見えやすい場所に簡単な標識を提示する必要がありますが、できていないところがあるので保健所に指導を依頼しています。

また、区・消防署・警察署・税務署と連携の強化を図っていくことです。

（みなど保健所生活衛生課住宅宿泊事業担当： 03-6400-0088）

★ 学校の児童・生徒数増加による対応について

⇒ 繙続的な児童・生徒数の増加が見込まれる学区域については、これまでの施設整備計画の見直しを含め、施設需要への対応を迅速かつ柔軟に進めるとのこと。

学校に関することは教育長、それ以外は区長という役所の縦割り行政の中で、適正な教育環境を提供するための連携に注視します。

開始された港区版ふるさと納税は4つの中から活用を選べるタイプです

1. 台場の水質改善
2. 港区マラソン
3. ライトアップ
4. 区政全般を応援



★ ふるさと納税制度で港区が失う税収、今年度はなんと約30億円。港区は返礼品ではなく、「使い道を選んで港区を応援する」という制度を4月から開始しました。

約2ヶ月間で、27万5千円が寄付されたとのことです、どのように制度が充実されるのか今後も注目です。

ふるさと納税制度全般のお問い合わせは
港区役所企画課： 03-3578-2091

こんなことありました



区政報告会を開催しました。

⇒ 区議会議員活動をご報告するべく、毎年春に区政報告会を2回開催しています。今回も約1時間の報告会の中で、区政に反映された提案（区立小・中学校日本語学級、民泊マンションデータベース作成など）、近い将来計画している麻布十番大通り改修の状況、港区が進めようとしている施策、そして政務活動費の使途を含め、様々な報告をいたしました。

ご参加いただいたみなさまに心より御礼申し上げます。



勉強会を開催しました。

⇒ 「民泊」と「商店街振興」のテーマで地域のみなさんと勉強会を行いました。山田美樹衆議院議員を交え、商業地や近隣商業地といった「用途地域」による事業継続の危機や、違法民泊による影響など、地域が抱える課題や心配事について率直なご意見をいただきました。

地方議員と国会議員が課題解決のためにどのような連携をすべきかを模索しています。良い機会をいただいたことで、これから情報共有を更に強めていくことになりました。



ごみの出し方について改善を求める声を以前よりいただいている。

⇒ 不法投棄という粗大ごみのイメージが強いですが、出してはいけない場所に家庭ごみを出すのも不法投棄のひとつ。家庭ごみ集積所に明らかな事業ごみが排出されてたり、事業者のごみ箱が常に店舗外に放置されることで集積所と勘違いされ、「ごみがごみを呼ぶ」ことに繋がってしまいます。

ごみ問題はネズミのような衛生面のほか、景観にも大きく影響します。特にほとんどの事業ごみは独自に業者と契約されているもので、区が回収するものではありません。関係各所と改善に向け検討を続けています。



新設された日本語学級を見学しました。

⇒ 長く要望していた中学校日本語学級の開設は、小学校日本語学級や国際学級卒業生の待望の選択肢となりました。今年度開設された麻布小学校と六本木中学校では、それぞれ20名前後の子供達が学んでいます。

日本語の学習と平行で日本語で教科を学ぶ友人の姿を見ることで、外国語学習や国際理解に意欲的な子供達が増えってくれることを期待しています。

小倉りえこ プロフィール

建設常任委員会 東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
エレベーター等対策特別委員会 副委員長

- ・ 港区麻布十番出身 港区立東町小学校卒
- ・ 米国サウスカロライナ大学理学部生物学科卒
- ・ バイオベンチャー・製薬企業において、リウマチ、がん、線維筋痛症などの医薬品研究開発に従事

ご意見・お声をお寄せください

〒106-0047 港区南麻布1-4-21-601

Tel/Fax 03-3455-6208

<http://ogura-rieiko.com>

